

大磯町行政経営プランに基づく取組み成果（平成 30 年度）の概略

1 行政経営プランの概要

- 第四次総合計画後期基本計画（平成 28 年度～平成 32 年度）に位置付ける施策の実効性を確保するための財源確保に特化
- 行政の合理化を目指す「行政改革」と、中長期的な財政運営の視点を持つ「財政健全化計画」を統合し、それぞれの性質を併せ持ち、歳入歳出両面から行財政改革を推進

第四次総合計画後期基本計画の計画期間で見込まれる
財源不足（28 億 7,200 万円）の解消を目指す
↓
平成 30 年度財源確保目標額：約 3 億 7,800 万円

【財源確保のための取組みの体系（全 14 事業）】

(1) 歳入確保の取組み

- ①町税等の収入の確保 (2 事業：うち 1 事業は重複により歳出③にて集計)
- ②受益者負担の適正化 (3 事業：うち 2 事業は重複により歳出③にて集計)
- ③公有財産の処分と活用 (2 事業：うち 1 事業は賃料が据置きに決定したため取組みを終了)
- ④その他の自主的な財源の確保 (3 事業)

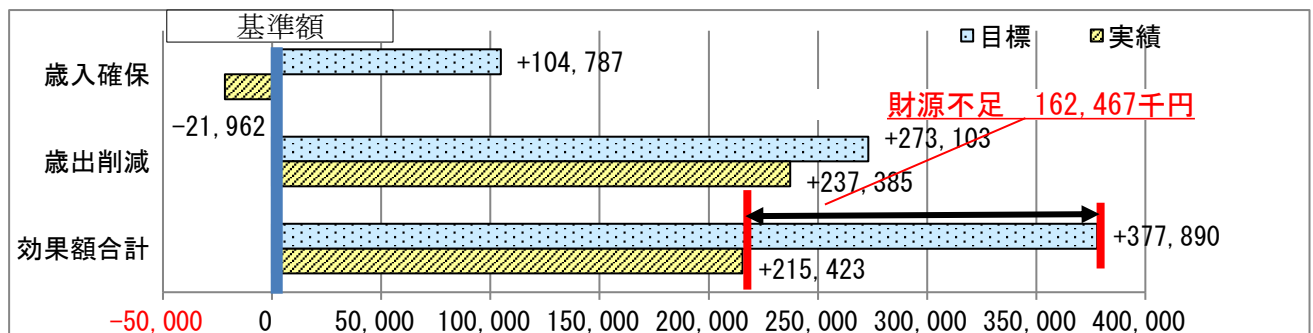
(2) 歳出削減の取組み

- ①事務事業の見直し (4 事業)
- ②公共施設の再編 (1 事業)
- ③予算規模の抑制・縮小 (3 事業)
- ④定員・給与・組織の適正化 (1 事業：職場環境改善の取組みのため、平成 29 年度から取組みを休止)

2 財源確保の取組結果

(1) 実施状況の概要

実施項目	財源確保の状況		
	計画目標 (ア)	実績 (イ)	達成率 (イ)÷(ア)
A 歳入確保の取組み効果額	歳入増 104,787 千円	歳入減 21,962 千円	△ 21.0%
B 歳出削減の取組み効果額	歳出減 273,103 千円	歳出減 237,385 千円	86.9%
C 効果額合計 (A+B)	財源確保 377,890 千円	財源確保 215,423 千円	57.0%
D 解消すべき財源不足額	財源不足 552,000 千円	財源不足 552,000 千円	-
E 実質収支 (C-D)	財源不足 174,110 千円	財源不足 336,577 千円	-

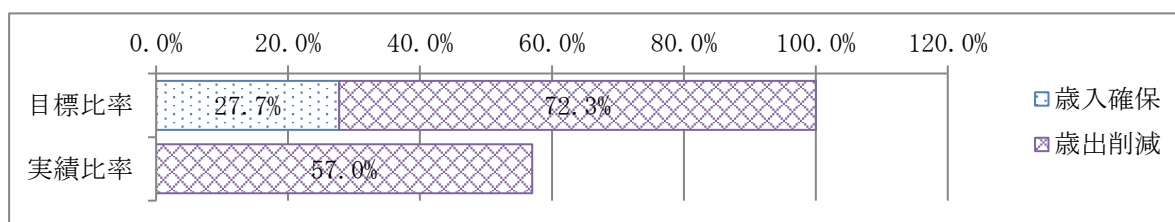


平成30年度は、当初の年次別目標額に対し、効果額の目標額の合計が約3億7,800万円としており、当初から約1億7,400万円の不足を見込んでいました。しかし、実施結果を振り返ると、財源確保に向けた14項目の取組みを実施したものの、年次別目標額に対しては約3億3,700万円の不足、効果額の目標額の合計からも約1億6,200万円の不足が生じるという結果になりました。

項目別に見てみると、歳出削減の取組みに関しては、目標に対し約3,600万円の不足で約87%の達成を図ることができましたが、歳入確保の取組みに関しては、目標を上回る成果を得られた取組みがあった一方で、従来ほどの歳入確保を図ることができなかった項目もあり、全体として、目標額を大きく下回るマイナス収支となってしまいました。

(2) 年次別目標額の達成状況

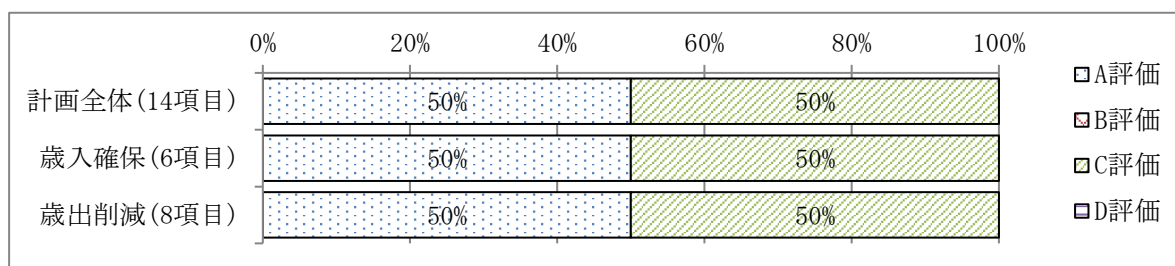
平成30年度の目標額（約3億7,800万円）に対する、歳入確保及び歳出削減のそれぞれが占める割合は次のとおりです。



※ 実績比率は、歳入確保の実績（-5.8%）がマイナスであるため、グラフ上では、歳出削減の実績（62.8%）は歳入確保のマイナス分を差し引いて表示しています。

(3) 総合評価

- A評価（行動計画通り進行し、目標額を達成した） 7事業（50%）
- B評価（行動計画通り進行しなかったが、目標額は達成した） 0事業（0%）
- C評価（行動計画通り進行したが、目標額は達成できなかった） 7事業（50%）
- D評価（行動計画通り進行できず、目標額も達成できなかった） 0事業（0%）



【参考】 C評価及びD評価の取組み

区分	取組名	評価	実績額	目標額
【歳入】	滞納整理の徹底	C	△ 59,575 千円	22,000 千円
【歳入】	未利用町有地の売却・貸付	C	35,872 千円	81,000 千円
【歳入】	広告料収入の拡大	C	△ 228 千円	430 千円
【歳出】	行政評価による事務事業の見直し	C	2,109 千円	28,800 千円
【歳出】	補助金・交付金の見直し	C	4,946 千円	5,600 千円
【歳出】	ごみ処理広域化に伴う廃棄物処理事業の見直し	C	87,298 千円	112,400 千円
【歳出】	国民健康保険税の徴収強化	C	24,550 千円	45,000 千円